

のぞみふくいニューズレター

第45号(H25年6月1日)

(公益財団法人) がんの子どもを守る会 福井支部 発行
TEL・FAX 0776-22-5132
Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp
本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>
支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>
支部 facebook ページ <https://www.facebook.com/gannokodomofukui>

梅雨の季節の到来です。今年は、快いさわやかな季節はあっという間に通り過ぎた感があります。

新人さんは研修が終わり、本当の職場に配属され、がんばっている時期ですね。私たち、会の運営も活発になっていく時期。6月9日(日)には東京本部で年次大会があります。東京飯田橋での開催ですが、私たちがどんな会の運営をしているかがお分かりいただけ、また、最新の中央の情報を手に入れられる機会でもあります。旅行気分で、東京に出かけてみようかなと思われたら、ぜひお立ち寄りください。(文責：代表幹事)

5月25日(土) のぞみ福井定期総会 2013 「病気の子どもと家族の心に届く支援をめざして」

福井大学医学部附属病院 臨床教育研究研修センター2階 白翁会ホール



30度を超える暑さの中、70名の方においでいただきました。

講師の坂上さんが事情で遅れられ、プログラム変更して、まずは、がんの子どもを守る会の活動から発表しました。SWの齋藤さんから、現在の厚労省の動きから、小慢対策、難病対策への陳情情報とがん対策の今後の陳情をどうするかについて述べてもらいました。その後、守る会の主な活動



と福井支部ではどういう活動をしているかを辻子副幹事に述べてもらいました。福井大学小児病棟でボランティアをしている学生FEALの活動報告をしてもらい、HPS山田智恵美さんが、福井大学病院で活動始めたことについて、おはなししていただきました。



その後、長年病院での遊びのボランティアで、子どもと家族の支援をされている、坂上和子さんのご講演を聞いた後、質疑応答のうえ、みんなで、どういう支援が、子どもと家族の心に届くのか考えました。

結論、ボランティアであっても患者家族の希望にある程度こたえる。病気でも子どもは遊びで成長する。家族も成長する。やはり、患者家族の気持ち、立場を考えることが大切である。とわかりました。



その後、分科会として、経験者とご家族の会、子どもを亡くされたご家族の交流会を分けてしました。

今年は新しい取り組みとして、ちょっとやってみようボランティア、ゴールドリボンの袋詰めを体験してもらいました。そして、アロマテラピーの体験会では、自分の好きな香りの調合をしてもらい、香りによって、ストレスを開放したり、疲れをとったり、心をいやしたりできることを学びました。

福井大学病院が工事中で、場所が分かりにくかったとの指摘が多く、反省点です。

アフラック福井支店様よりボールペンのご寄付をいただきました。募金箱ではなく、募金鍋を今年は置かせていただきました。皆さまから10480円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



2013年7月28日(日) のぞみ福井小児がんピアカウンセリング交流会 嶺南地区開催

午後1時半から4時 敦賀市西公民館(敦賀市美島町2-19-8)にて行います。

経験者の方、ご家族、お子様を亡くされたご家族の方、治療に関すること、今のお気持ち、小児がんに関することなんでもお話をお伺いします。嶺南での開催です。お近くの方この機会にどうぞお越しください。カフェ形式にお茶お菓子をご用意しています。お気軽にお越しください。